



## 季節感に溢れた草花で都心に秋を演出 「六合の花」を中心とした山野草フェアが開催

小田急フローリストで第3回山野草フェアが開催！

- 期日：9月28日(金)～30日(日)
- 場所：小田急フローリスト、Reconnel各店舗
- 主催：株式会社小田急ランドフローラ
- 内容：山野草を中心とした草花フェア

### ■ 秋を感じさせる草花が都心を彩る！

今回、山野草フェアを開催した「小田急フローリスト」は、小田急線沿線に展開する花ギフト専門店です。同店では、40～50代の客層向けの「小田急フローリスト(17店舗)」と20～30代の客層向けの「Reconnel(2店舗)」の2ブランド19店舗が展開されており、今回はその全ての店舗で「秋の山野草フェア」が開催されました。このフェアは今年で3年目を迎え、山野草の産地として知られる中之条町六合地区を始め、JAみなみ信州、JAながの(みゆき支所)といった山野草の産地から様々な草花が集まり、店頭を彩っていました。

中之条町六合地区からは、セダムやトリカブト、秋明菊など計12品目の草花が入荷され、その品目数は、今回入荷された産地の中でも最も多く、同地区の栽培品目の多様さが感じられました。



秋を感じさせるフェアのブース

### ■ 「六合の花」の人気高く、各店舗のスタッフからも高評価！

中之条町六合地区の山野草は、「六合の花」というブランドで京浜市場を中心に出荷されています。産地では約150品目もの草花が栽培され、その品目の多様さと、高い標高を活かした発色の良い高品質な草花の栽培により、市場からも注目される産地となっています。また、花き業界では、近年草花の人気が非常に高まっており、多様な草花の産地である六合地区への注目度も年々高まっています。

今回の山野草フェアにおいても、小田急フローリスト、Reconnel両店舗のスタッフから「六合の花は種類も多くありがたい」「他の産地には無い花があり魅力的」など高い評価が聞かれ、「六合の花」の人気の高さを感じることができました。特に人気のある品目を伺うと、「六合の花」の代表的な品目である「セダム」や「秋明菊」「フジバカマ(白)」などが挙げられました。

フェアは9月30日(日)まで開催され、最終日には各店舗に用意された山野草はほぼ完売となり、秋の演出と季節感に溢れたイベントは大盛況のうちに終了となりました。

スタッフの方からも、「草花の人気はまだ続くと思う。六合地区は個性豊かな草花を提供してくれる貴重な産地なので、これからも頑張ってもらいたい」と産地への期待を込めたコメントをいただきました。

中山間地域における農業振興は、本県においても非常に重要な課題となっています。本県の中山間地域には、六合地区を始め片品村や南牧村といった個性豊かな花産地が多くあり、各産地の特色を活かした生産振興が期待されます。



若者向けブランド「Reconnel」の店頭



セダムを使ったアレンジ